



アオジ (ホオジロ科)

夏に北海道や本州北部で繁殖し、冬に積雪のない低地に移動します。



ムクノキの実がお気に入り入りのようで、10羽前後の群れでムクノキの実を食べていました。クチバシの辺りが怖そうなイメージを漂わせています。

ムクノキの実を食べるシメ (アトリ科)



モミジバフウの種子を食べるアトリ (アトリ科)

夏は、ユーラシア大陸北部で繁殖し、冬には、日本に冬鳥として渡来します。



悠々と飛ぶアオサギ (サギ科)

人が近づいて来たのを気にしてか、上池にいたアオサギが飛び立ち、下池方面に飛び去りました。



ヨシガモ (雄) (カモ科)



コガモ (雄) (カモ科)



オカヨシガモ (雌) (カモ科)

冬鳥で、下池、中池、奥池、上池間を移動しながら生活しています。



モミジバフウの種子を食べるカワラビワ (アトリ科)

留鳥で全国で繁殖します。



シヨウビタキ (雄) (ヒタキ科)

夏は、チベットやバイカル湖周辺で繁殖し、冬鳥として日本に渡来し、積雪のない地方で越冬します。



しばらくいなかったバンは、最近下池、中池に定着してきました。

バン (クイナ科)



三木山の上空をたまに旋回しています。ちなみにミサゴの英名は“Osprey (オスプレイ)”で、ホバリングするミサゴの飛び方にちなんで米軍の「垂直離着陸機」の愛称になっています。

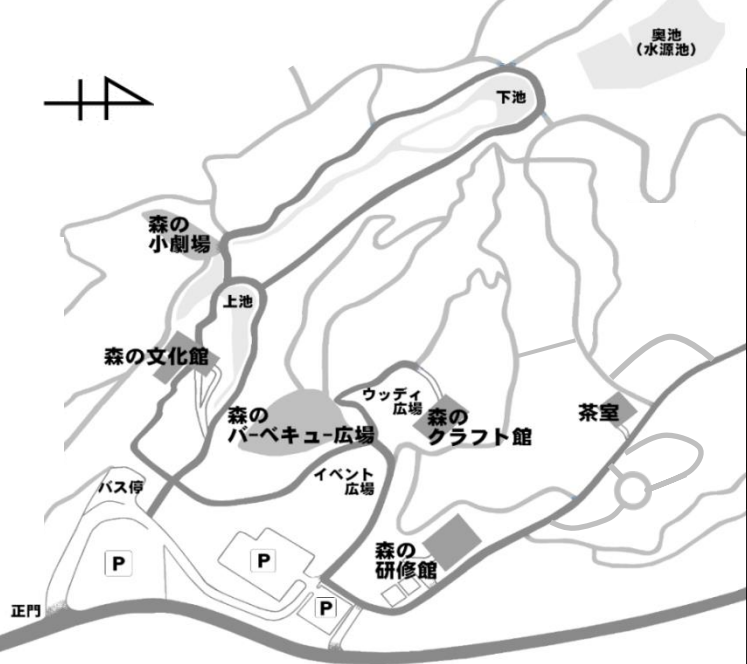
ミサゴ (ミサゴ科)

みどころ Mikiyama

令和5年12月下旬

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります



エナガ (エナガ科)

尾羽が長いエナガと針葉樹のネズミサシで休憩しているヤマガラは共に留鳥で、全国の山地、平地で生息しています。メジロやシジュウカラ、ヤマガラ、コゲラなどと混群(こんぐん。異なる種の鳥が1つの群れになることです。)しています。



ヤマガラ (シジュウカラ科)



成虫越冬するムラサキシジミ (シジミチョウ科)

成虫で越冬します。今回は、連絡道で成虫を確認しました。